

事業名	スポーツ・レクリエーション祭の開催	
主管課	(主管課) スポーツ・青少年局 生涯スポーツ課(課長: 岩上安孝)	
事業の概要	<p>広く国民にスポーツ・レクリエーション活動を全国的な規模で実践する場を提供することにより、国民一人ひとりのスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、もって国民の生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動への振興に資することを目的に実施。</p>	
予算額及び事業開始年度	<p>平成15年度予算額: 154百万円 事業開始年度: 昭和63年度</p>	
上位施策目標	7-1 生涯スポーツ社会の実現	
必要性	<p>スポーツは明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や国民一人一人の心身の健全な発達に資するものであり、高齢化の急激な進展や生活の利便化等により体を動かす機会が減少する今日、国民の誰もが生涯を通じて継続的にスポーツに親しんでいくことが益々必要となってきた。</p> <p>とりわけ、社会人として時間的制約も多くなり、スポーツ活動から遠ざかる傾向が強まる中高年の方々にとっては、日常生活の中で主体的に運動・スポーツ活動に取り組んでいく態度や習慣を身につけ、健康的なライフスタイルを形成していくことが大切であり、本事業を通じて、各種スポーツ・レクリエーション種目の普及やその活動の楽しさを広く国民に伝えていくとともに愛好者相互の交流を深める機会を提供していくことが今後とも必要不可欠である。</p> <p>また、国の策定したスポーツ振興基本計画(平成12年策定)における政策目標において、できる限り早期に、成人の週1回以上のスポーツ実施率が2人に1人(50%)となることを目指しており、本事業の効果的活用が望まれている。</p>	
手段の適正性(有効性・効率性等)	<p>本事業では、各種スポーツ・レクリエーション種目を広く普及していくため、都道府県代表参加種目に加え、県内全域で誰もが参加・体験できる各種のフリー種目や地域の特色を生かした特別行事など広く国民の生涯スポーツに対する理解・関心を高めるための工夫を行っている。</p> <p>また、本事業は国はもとより、我が国の生涯スポーツの中心的団体等である、文部科学省、開催都道府県、(財)日本体育協会、(財)日本レクリエーション協会、(社)全国体育指導委員連合の5者の共催で行われており、大会運営においても開催都道府県のニーズが十分に反映され、過度の負担がかからないよう、各団体がそれぞれの役割に応じ地方組織との連携を密にしながら効果的かつ効率的かつ効果的な大会運営がなされるよう配慮している。</p> <p>これまでの成果としては、本事業の開催を通して、誰もが気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーション種目の統括団体においては、地方組織の活動の活性化が図られ、その組織基盤の充実が図られること、また、開催都道府県においては、参加種目団体との連携など親しみやすいスポーツを展開していく上でのノウハウが得られることによって、競技性の高い競技だけでなく、気軽に参加できる種目の振興に資することが挙げられる。</p> <p>さらに開催五者で行われる連絡協議会を設け、前回の事業実施を検証し、次回開催へ反映させる仕組みを整えている。</p>	
達成効果及び達成時期	<p>本事業により、広く国民にスポーツ・レクリエーション活動を全国的な規模で実践する場を提供することにより、国民一人ひとりのスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起することを通じ、成人の週1回以上のスポーツ実施率が50%以上になること。</p>	<p>平成17年度 (次期評価時期)</p>
改善点(評価を踏まえた改善・見直し結果)	<p>毎年度において事業実施結果(報告)を検証した上で、次回開催へ反映させることとし、より一層効率的・効果的に事業を行う。</p>	
備考		



全国スポーツ・レクリエーション祭



主 催

- 文部科学省
- 開催地都道府県
- (財)日本体育協会
- (財)日本レクリエーション協会
- (社)全国体育指導委員連合

国

民

場の提供



全国スポレク祭

- 楽しさ(Enjoyment)
- 気軽さ(Easy)
- 感動(Excitement)

発 見

生涯を通じた
スポーツ・レクリエーション活動
の 振 興

種目別大会

年齢や体力に応じて誰でも参加できる
都道府県代表種目・フリー参加種目

特別行事

各種スポーツ・レクリエーションの
体験,健康・体力に関する知識の啓発 等

シンポジウム

協賛事業